

香美市地域公共交通に関する住民ヒアリング調査結果

01 土佐山田町（岩積地区）

調査概要

地区：土佐山田町 岩積

日時：2023年7月19日（水） 13:30

場所：岩積公民館

ヒアリング実施者

香美市定住推進課：谷

GPMO：大西、寺尾

問1 回答者の属性

①お住まいの地域（地区名）

- ・土佐山田町岩積地区（39世帯が存在している）

②氏名

- ・参加者 10人

③年齢

- ・地区住民：60歳以上が多いのではないかと。

④同居家族の構成

- ・地区住民：夫婦のみの世帯が多い。一人暮らしの世帯や若い世帯もある。2世帯は小さい子どもがいる。

⑤自身が利用可能な移動手段（複数回答可）

- ・地区住民：自動車が多い
- ・なかには郵便局まで歩いて行っている人もいる。

⑦性別

- ・参加者（男性）6人
- ・参加者（女性）4人

⑧職業等

- ・地区住民：農業が多い。年金生活者や若い人は会社員もいる。

01 土佐山田町（岩積地区）

問2 日常の移動について（通勤・通学）

①目的地（住所や具体的な施設名を記載）

- ・南国市（2人）

②-1 そこへの移動手段

- ・参加者：自分で自家用車を運転、バイク

③滞在時間

- ・参加者：5時間30分
- ・参加者：8時間

④ついでに回る場所（住所や具体的な施設名を記載）

- ・参加者：バリューノア、サンシャイン、フジグラン野市
- ・参加者：立ち寄らない

⑤-1 ついでに回る際の移動手段

- ・参加者：自分で自家用車を運転

⑥この移動の頻度

- ・参加者：週6日
- ・参加者：週5日

⑦家を出る時間

- ・参加者：午前7時40分
- ・参加者：午前7時40分

⑧家に帰ってくる時間

- ・参加者：午後15時
- ・参加者：午後18時

01 土佐山田町（岩積地区）

問3 日常の移動について（通院）

①目的地（住所や具体的な施設名を記載）

- ・参加者：岩河整形外科、佐野内科リハビリテーションクリニック、坂本内科

②-1 そこへの移動手段

- ・自分で自家用車を運転

③滞在時間

- ・2時間
- ・その時によって、時間はまちまちである。

④ついでに回る場所（住所や具体的な施設名を記載）

- ・立ち寄りない
- ・病院の順番を取るために一度病院に行っている。

⑤-1 ついでに回る際の移動手段

⑥この移動の頻度

- ・40日に1回
- ・3日おきに通院

⑦家を出る時間

- ・参加者：午前7時20分

⑧家に帰る時間

- ・参加者：午前11時

01 土佐山田町（岩積地区）

問4 日常の移動について（買い物）

①目的地（住所や具体的な施設名を記載）

- ・バリューノア・かがみの、フジグラン野市、レディ薬局、生協、マルナカ（土佐山田店）、マルニ（山田店）

②-1 そこへの移動手段

- ・参加者：自分で自家用車を運転

③滞在時間

- ・参加者：30分
- ・参加者：1時間

④ついでに回る場所（住所や具体的な施設名を記載）

- ・参加者：ATMで出金する。

⑤-1 ついでに回る際の移動手段

- ・参加者：自分で自家用車を運転

⑥この移動の頻度

- ・参加者：週2日

⑦家を出る時間

- ・参加者：特に決まっていない

⑧家に帰る時間

- ・参加者：特に決まっていない

01 土佐山田町（岩積地区）

問5 日常の移動について（その他）

①目的地（住所や具体的な施設名を記載）

- ・参加者：将棋道場
- ・参加者：香北町の実家（田畑の管理）
- ・参加者：香北町の香北グラウンド（グラウンドゴルフ）
- ・参加者：市内（知人との昼食）

②-1 そこへの移動手段

- ・参加者：自分で自家用車を運転

③滞在時間

- ・参加者：将棋道場：4時間～5時間
- ・参加者：香北町の香北グラウンド（グラウンドゴルフ）：2時間

④ついでに回る場所（住所や具体的な施設名を記載）

- ・参加者：将棋道場：立ち寄らない

⑤-1 ついでに回る際の移動手段

⑥この移動の頻度

- ・参加者：将棋道場：週3～4日程度
- ・参加者：香北町の実家（田畑の管理）：週5日以上
- ・参加者：市内（知人との昼食）：週1日

⑦家を出る時間

- ・参加者：将棋道場：午後13時
- ・参加者：香北町の実家（田畑の管理）：午前7時30分
- ・参加者：香北町の香北グラウンド（グラウンドゴルフ）：午前8時

⑧家に帰ってくる時間

- ・参加者：将棋道場：午後17時～18時
- ・参加者：香北町の実家（田畑の管理）：午後16時
- ・参加者：香北町の香北グラウンド（グラウンドゴルフ）：午前11時

01 土佐山田町（岩積地区）

問6 移動手段の確保に対する不安について

①移動手段の確保に対する不安について

- ・特に考えていない。

②自由記述

- ・将来、車を運転できなくなるとタクシーを利用するようになると思われる。その時に地区にバスが運行しているとありがたい。
- ・当該地区から土佐山田駅までのバスがあるとよい（そこから徒歩で佐野内科に行く、飲酒のために車が運転できない場合など）
- ・毎日でなくてもよいので、週に2～3日で、多くの便で運行してほしい（1日に2～3便では少ない）。

問7 どのような移動手段を要望するか

⑤自由記述

- ・公共交通における高知市までの直通的な交通手段については、自家用車を利用しているため、必要性等は分からない
- ・「カミカ」を利用して公共交通に乗車できるとよい。
- ・バスロケーションシステムは、高齢者が多い地区なので、使いこなせないのではないかと。
※スマホを利用している世代が、5年後から10年後に必要となることは考えられる。
- ・市営バスの料金は、一回200円で分かりやすいが、JR、バス等の料金体系については、距離によって決まっているのであれば、分かると思われる。
- ・サブスクによる公共交通の利用は、あまり需要がないように思われる。
- ・手を挙げると乗車できるようなフリー乗降があればよい。
※土佐山田町のまちなかや交差点付近での乗降はできないが、他の場所ではフリー乗降が可能となっている。
- ・自動運転はシンプルな道であれば信用できるが、複雑な道等は信用できない。
- ・空港等へのバスの必要性は感じない。
- ・香南市へ行くようなバスがあるとよい。

01 土佐山田町（岩積地区）

笹岡議員からの要望

- 鳥取市の事例であるが、交通空白地有償運送を行っている。運営する団体に対して車両の提供、運営費の提供など支援を市が行っている。

※市民が車を購入すれば車両費やメーター設置費、毎月の経費などを支援している。

- 運転手の報酬はどうなるのか。
→給料も含めて支援することも考えられる。（香美市）
- 200 円以上、料金を徴収できないなどの決まりがあるようである。
- 運転する場合には 2 種免許は不要で、自動車学校で講習を受けて、登録されれば運転が可能である。

O2 土佐山田町（繁藤駅前地区）

調査概要

地区：土佐山田町 繁藤

日時：2023年7月19日（水） 10:00

場所：繁藤公民館

ヒアリング実施者

香美市定住推進課：谷

GPMO：大西、寺尾

問1 回答者の属性

①お住まいの地域（地区名）

- ・土佐山田町繁藤駅前

②氏名

- ・参加者2人

③年齢

- ・参加者：60～69歳：1人
- ・参加者：70～74歳：1人
- ・地区住民：小学生4人
- ・地区住民：30歳：4～5人
- ・地区住民：60～70歳代が多いのではないか。

④同居家族の構成

- ・参加者：1人暮らし：1人
- ・参加者：子どもと同居：1人
- ・地区住民：子育て世帯も2世帯ほどある。

⑤自身が利用可能な移動手段（複数回答可）

- ・参加者：自動車：2人
- ・地区住民：自動車が主である

⑦性別

- ・参加者（男性）1人
- ・参加者（女性）1人

⑧職業等

- ・参加者：自営業・自由業（農業を含む）：1人
- ・参加者：無職（年金生活含む）：1人
- ・地区住民：会社員の方もいる。

02 土佐山田町（繁藤駅前地区）

問2 日常の移動について（通勤・通学）

①目的地（住所や具体的な施設名を記載）

- ・地区住民：会社員の人は高知市内に通勤している。香長小学校に通う小学生もいる。

②-1 そこへの移動手段

- ・会社員：自分で自家用車を運転
- ・小学生：バスが満員で乗れないため、タクシーを利用している

③滞在時間

- ・会社員：120分以上である。

④ついでに回るところ（住所や具体的な施設名を記載）

- ・地区住民：不明である。

⑤-1 ついでに回る際の移動手段

⑥この移動の頻度

- ・会社員、小学生：週5日以上

⑦家を出る時間

- ・会社員：午前7時30分頃

⑧家に帰る時間

- ・会社員：職業によっては帰宅が遅い。

02 土佐山田町（繁藤駅前地区）

問3 日常の移動について（通院）

①目的地（住所や具体的な施設名を記載）

- ・岩河整形外科、坂本内科、高知市内の病院

②-1 そこへの移動手段

- ・自分で自家用車を運転

③滞在時間

- ・1時間～2時間

④ついでに回るところ（住所や具体的な施設名を記載）

- ・バリューかがみの、ドラッグセイムス（土佐山田店）、銀行、市役所等

⑤-1 ついでに回る際の移動手段

- ・自分で自家用車を運転

⑥この移動の頻度

- ・2週間に1日程度、1ヶ月に1日程度

⑦家を出る時間

- ・午前9時頃

⑧家に帰りつく時間

- ・午後13～14時頃

02 土佐山田町（繁藤駅前地区）

問4 日常の移動について（買い物）

①目的地（住所や具体的な施設名を記載）

- ・バリューかがみの
- ・地区住民：大豊への買い物ではなく、土佐山田町へ買い物に行っている人が多いのではないか。

②-1 そこへの移動手段

- ・自分で自家用車を運転

③滞在時間

- ・参加者：バリューかがみので食事することもあり、1時間程度かかることもある

④ついでに回る場所（住所や具体的な施設名を記載）

- ・参加者：病院

⑤-1 ついでに回る際の移動手段

- ・参加者：自分で自家用車を運転

⑥この移動の頻度

- ・参加者：週に1回程度、月に2回程度

⑦家を出る時間

- ・参加者：午前9時～10時

⑧家に帰る時間

- ・参加者：午前12時～午後13時

02 土佐山田町（繁藤駅前地区）

問5 日常の移動について（その他）

①目的地（住所や具体的な施設名を記載）

- ・参加者：バリュー内にある銀行（記帳のため）に行く。子どもの家（土佐山田町）に行く。

②-1 そこへの移動手段

- ・参加者：自分で自家用車を運転

③滞在時間

- ・参加者：銀行：10分
- ・参加者：子どもの家（土佐山田町）：1時間程度

④ついでに回る場所（住所や具体的な施設名を記載）

- ・参加者：マルニ、ドラッグセイムス（土佐山田店）、バリューあけぼの

⑤-1 ついでに回る際の移動手段

- ・参加者：自分で自家用車を運転

⑥この移動の頻度

- ・参加者：月に1回程度

⑦家を出る時間

- ・参加者：午前9時

⑧家に帰ってくる時間

- ・参加者：午前12時

問6 移動手段の確保に対する不安について

①移動手段の確保に対する不安について

- ・自分の運転に不安があり、あまり交通量の多い道路は避けて車を運転している。

②自由記述

- ・知人に買い物を依頼する。子どもに送迎を依頼する。
- ・免許を返納するとなると公共交通の充実が必要である。
(高知市内までバスが運行していたが、医大までしかいけなくなった。JRの便数も減少している。)

問7 どのような移動手段を要望するか

①どこへ行きたいか

- ・香美市の中心部（土佐山田）

②時間帯

- ・午前中に行って、昼に帰ってくる。又は、午後から行って夕方に帰ってくる。

③1週間の内のお出かけ頻度

- ・週1回程度

④デマンド運行の可能性の対応度

- ・デマンドバスもあれば便利である。

⑤自由記述

- ・公共交通を使っていないので、具体的なことは分からない。
- ・乗り換えなしに高知市へ行ける手段があればよい。
- ・スマホ決済でコンビニの支払いもしており、スマホで公共交通の料金の支払いができれば便利である。
- ・スマホ等を利用したバスロケーションシステムは、不要である。
- ・近い距離で小刻みな料金体系より、ある一定の距離までは同一料金の方が分かりやすい。
- ・1枚の定期で全てが乗れるとしても、乗り切れないので不要である。
- ・自動運転は、どのようになるかイメージが湧かない。また、無人であるため信用ができない。
- ・香南市、空港へのバスについては、需要がないため不要である。
- ・市営バス（西又・不寒冬線）は、通学で乗車できないことがあるため、便数を増やすなどを図ってほしい。

03 土佐山田町（東本町旭町 2 丁目地区）

調査概要

日時：2023 年 7 月 21 日（金）10:30

場所：土佐山田中央集会所

ヒアリング実施者

香美市定住推進課：中島、谷

問 1 回答者の属性

①お住まいの地域（地区名）

- ・土佐山田町東本町 2 丁目・旭町 2 丁目

②氏名

- ・参加者 9 人

③年齢

- ・参加者：60～69 歳：2 人
- ・参加者：70～74 歳：2 人
- ・参加者：75～79 歳：2 人
- ・参加者：80～84 歳：1 人
- ・参加者：85～89 歳：1 人
- ・参加者：90 歳以上：1 人
- ・地区住民：高齢者が多いが、集合住宅には子育て世代もみられる

④同居家族の構成

- ・独居・夫婦・2 世帯同居など様々

⑤自身が利用可能な移動手段（複数回答可）

- ・自家用車 5 名
- ・移動手段なし 4 名
- ・80 代以降の高齢層は移動手段無し

⑥同居家族が利用可能な移動手段（複数回答可）

- ・自家用車 8 人

⑦性別

- ・男性：5 人
- ・女性：4 人

03 土佐山田町（東本町旭町 2 丁目地区）

⑧職業等

- ・会社員 1 人
- ・無職（年金生活含む）：8 人

問 2 日常の移動について（通勤・通学）

- ① 目的地
 - ・高知市
- ② そこへの移動手段
 - ・鉄道（土讃線）
- ③ 滞在時間
 - ・4～5 時間
- ④ ついでに回るところ
 - ・帯屋町、オーテピア等
- ⑤ ついでに回り際の移動手段
 - ・徒歩
- ⑥ この移動の頻度
 - ・週 3～4 日程度
- ⑦ 家を出る時間
 - ・午前 7 時 20 分
- ⑧ 家に帰る時間
 - ・午後 13 時 30 分

問 3 日常の移動について（通院）

- ① 目的地（住所や具体的な施設名を記載）
 - ・高知病院、記念病院、高知大学医学部附属病院、さくらクリニック、坂本内科、近藤クリニック、JA 高知病院 はやし眼科 等
- ② -1 そこへの移動手段
 - ・自家用車
 - ・家族の送迎
 - ・鉄道（土讃線）→南国市営バス、ごめんなはり線、とさでん交通路面電車
- ③ 滞在時間
 - ・60 分～2 時間以上 など
- ④ ついでに回るところ（住所や具体的な施設名を記載）
 - ・高知大丸
- ⑤ ついでに回る際の移動手段
 - ・自家用車

03 土佐山田町（東本町旭町 2 丁目地区）

- ⑥ この移動の頻度
 - ・ 週 1～2 日程度から 1 か月に 1 日程度まで
 - ・ 10 日に 1 日程度
- ⑦ 家を出る時間
 - ・ 午前中
- ⑧ 家に帰る時間
 - ・ 午前中、公共交通機関を利用する人は夕方以降帰宅

問 4 日常の移動について（買い物）

- ① 目的地（住所や具体的な施設名を記載）
 - ・ バリューあけぼの バリューノア、マルナカ土佐山田店、レディ、セイムス
- ② -1 そこへの移動手段
 - ・ 自家用車
 - ・ 自転車、徒歩（レディ等近隣商業施の場合）
- ③ 滞在時間
 - ・ 40 分～90 分程度
- ④ ついでに回るところ（住所や具体的な施設名を記載）
 - ・ ない
- ⑤-1 ついでに回る際の移動手段
 - ・ ない
- ⑥この移動の頻度
 - ・ 1 週間に 1～2 度程度
- ⑦家を出る時間
 - ・ 午前 10 時ごろ
- ⑧家に帰る時間
 - ・ 午前 11 時 30 分ごろ

03 土佐山田町（東本町旭町 2 丁目地区）

問 5 日常の移動について（その他）

- ① 目的地（住所や具体的な施設名を記載）
 - ・土佐山田町佐岡地区の畑
 - ・デイサービス

- ② -1 そこへの移動手段
 - ・畑→自家用車
 - ・デイサービス→徒歩

- ③ 滞在時間
 - ・畑→2 時間以上
 - ・デイサービス→2 時間以上

- ④ ついでに回るところ（住所や具体的な施設名を記載）
 - ・ない

- ⑥ この移動の頻度
 - ・畑→週 5 日以上
 - ・デイサービス→2 週間に 1 度程度

- ⑦ 家を出る時間
 - ・畑→午前中早めの時間帯
 - ・デイサービス→午前中早めの時間帯

- ⑨ 家に帰る時間
 - ・畑→午後早めの時間帯
 - ・デイサービス→午後早めの時間帯

問 6 移動手段の確保に対する不安について

①移動手段の確保に対する不安について

- ・現在、自身で運転をしている層については現時点では不安はない。免許返納の年齢になったら、鉄道やバスの駅や停留所への徒歩移動も大変になるだろうから、タクシーを重宝しそう。安く利用できればありがたい。

自由記述

- ・JR 土佐山田駅の跨線橋について、現在も高齢層の方々は上り下りが大変。さらに高齢になったらという不安がある。エレベーターを設置してもらいたい。

問 7 どのような移動手段を要望するか

⑤自由記述

公共交通新しいシステムについての反応について

- ・高知市内への移動手段（鉄道以外）については 2 名程度が希望。
- ・乗り換え案内を分かり易くすることについて、自身の乗り換えについて把握しているので現在では不自由していないという回答。
- ・キャッシュレス系については、「カミカ」などを導入してもらえれば便利だと思う。
- ・期間を定めた定額料金や異なるモードでの定期券共有については、2 名程度が便利そうなので導入を希望する反応。
- ・自動運転について、最初は安全面で不安ではあるが、一般乗用車等でも十分普及が進めば、抵抗が無くなるのではないかと。
- ・スマホ等による乗り換え案内や予約システムについて、反応薄い。
- ・分かり易い料金体系について、JR 土讃線について土佐山田駅と山田西町駅からそれぞれ高知市等に行くのに大きく料金が異なる事について違和感があるという意見。
- ・香南市や南国市の空港への公共交通については、数名が希望する反応だった。ごめん奈半利線で野市町に行くのは時間がかかる。

その他

- ・主に市営バスあけぼの街道線について、200 円の料金が高いという意見。回数券や定期券があれば良いという意見があったので、現在の制度の説明を行って、制度周知の改善を行うという回答を行った。
- ・JR 土佐山田駅の跨線橋について、あらためて要望。高齢者の苦労だけでなく、観光でアンパンマンミュージアム等への来客でベビーカー使用の方が居る場合など、旅行の荷物と併せてベビーカーを持ち上げて跨線橋の階段上り下りをしたら、観光客としてリピートをしてもらえなくなるのではないかと心配。
→香美市と JR 四国側の協議や検討の現状を説明した（市）。

04 香北町（清爪、日比原地区）

調査概要

日時：2023年7月18日（火） 10:00

場所：秋友様宅

ヒアリング実施者

香美市定住推進課：谷

GPMO：大西、寺尾

問1 回答者の属性

①お住まいの地域（地区名）

- ・香北町清爪、日比原

②氏名

- ・参加者9人

③年齢

- ・70～74歳：5人
- ・75～79歳：1人
- ・85～89歳：2人
- ・90歳以上：1人
- ・地区住民：75歳以上が多いのではないか。

④同居家族の構成

- ・1人暮らし：2人
- ・夫婦：3人
- ・子どもと同居：4人
- ・地区住民：高齢者の夫婦が多いのではないか。

⑤自身が利用可能な移動手段（複数回答可）

- ・自動車：5人（原付を運転している人はいない）
- ・なし：4人（そのうち1人は、土日祝は同居の家族に自動車を運転してもらっているが、平日の移動手段がない）

⑦性別

- ・男性：3人
- ・女性：6人⑧職業等
- ・農業：2人
- ・無職（年金生活含む）：7人

04 香北町（清爪、日比原地区）

問2 日常の移動について（通勤・通学）

①目的地（住所や具体的な施設名を記載）

- ・通勤はしていない。

問3 日常の移動について（通院）

①目的地（住所や具体的な施設名を記載）

- ・香北病院、前田病院、楠瀬医院、楠目眼科、青山整形外科（高知市）

②-1 そこへの移動手段

- ・香北病院は送迎があり、自宅まで送迎してくれる。
- ・自分で自家用車を運転（7人）

③滞在時間

- ・1時間～1時間30分

④ついでに回るところ（住所や具体的な施設名を記載）

- ・薬局（病院の送迎がある方）

⑤ついでに回る際の移動手段

- ・病院の送迎

⑥この移動の頻度

- ・2～3週間
- ・10日に1日程度

⑦家を出る時間

- ・時間は決まっていない

⑧家に帰る時間

- ・時間は決まっていない

04 香北町（清爪、日比原地区）

問4 日常の移動について（買い物）

①目的地（住所や具体的な施設名を記載）

- ・木曜日（午後1時頃）の移動販売（サンプラザ）を利用している。：5人
- ・mac、バリュー、コメリなど：4人
- ・地区住民：冷凍食品は生協を利用している人もいる。（月曜日のみ。支払いがカードのみになっている）

②-1 そこへの移動手段

- ・移動販売（サンプラザ）は歩いて利用している。必要に応じ荷物を家まで運んでくれる。
- ・mac、バリュー、コメリ等は、自分で自家用車を運転。

③滞在時間

- ・移動販売（サンプラザ）：10分
- ・mac、バリュー、コメリなど：10～20分

④ついでに回るところ（住所や具体的な施設名を記載）

- ・ない

⑤-1 ついでに回る際の移動手段

- ・ない

⑥この移動の頻度

- ・mac、バリュー、コメリなど：2週間に1度程度

⑦家を出る時間

- ・mac、バリュー、コメリなど：午前10時頃（午前中が多い）
- ・サンプラザは午後13時ごろ来てくれる

⑧家に帰りつく時間

- ・mac、バリュー、コメリなど：午前12時頃

04 香北町（清爪、日比原地区）

問5 日常の移動について（その他）

①目的地（住所や具体的な施設名を記載）

- ・美良布に親族がおり、訪れることはある。
- ・遊びに行くようなことはない。

②-1 そこへの移動手段

- ・美良布の親族：自分で自家用車を運転

③滞在時間

- ・美良布の親族：30分～1時間程度

④ついでに回る場所（住所や具体的な施設名を記載）

- ・ない

⑤-1 ついでに回る際の移動手段

- ・ない

⑥この移動の頻度

- ・美良布の親族：週1～2日程度

⑦家を出る時間

- ・美良布の親族：決まっていない

⑧家に帰る時間

- ・美良布の親族：決まっていない

04 香北町（清爪、日比原地区）

問6 移動手段の確保に対する不安について

①移動手段の確保に対する不安について

- ・今現在不安を抱えている。

②自由記述

- ・デマンドバスの運行を希望する。デマンドバスは、移動販売（サンプラザ）が木曜日に来てくれているため、それ以外の日を希望する（火、金でも可）。また、午前中の出発（8時、10時頃など）を希望する。
- ・交通手段を上手く使えば、不安が解消される。
- ・サンプラザだよりになっている人もいる。

問7 どのような移動手段を要望するか

⑤自由記述

- ・支払いはスマホを利用したキャッシュレスより、現金がよい。スマホは、利用方法が分からない。
- ・スマホ等を利用したバスロケーションシステムは、スマホの利用方法が分からないため必要と思わない。
- ・サブスク（例：月額1万円でタクシー乗り放題）については、使いきることができないのではないかと。また、イメージが分からない。
- ・公共交通の乗り換えが辛いために、タクシーを利用している。
- ・香南市、空港等へ行く用事はない。
- ・公共交通の料金体系等についても、利用していないため分からない。
- ・デマンドバスを運行した場合の予約については、パソコンやスマホ等による予約は利用方法が不明のため、電話での予約を望む。
- ・膝が悪い人はmacにいけない。
- ・Aコープが香北町から無くなった。

05 香北町（岩改、萩野地区）

調査概要

日時：2023年7月18日（火） 13:30

場所：地区住民宅

ヒアリング実施者

香美市定住推進課：谷

GPMO：大西、寺尾

問1 回答者の属性

①お住まいの地域（地区名）

- ・本人：香北町萩野（岩改との境付近）

②氏名

- ・参加者1人

③年齢

- ・本人：60～69歳
- ・地区住民：70～80歳が多いのではないか。

④同居家族の構成

- ・本人：夫婦と子ども
- ・地区住民：高齢者の夫婦や祖母と子ども夫婦が多いのではないか。ひとり暮らしは少ない。

⑤自身が利用可能な移動手段（複数回答可）

- ・本人：自動車
- ・地区住民：自動車が一番多い。自転車、原付で移動している人もいる。少数であるが南岩改から自転車、電動カートで移動している人もいる。

⑦性別

- ・本人：男性

⑧職業等

- ・本人：自営業・自由業（農業含む）
- ・地区住民：農業や無職（年金生活含む）が多い。

05 香北町（岩改、萩野地区）

問2 日常の移動について（通勤・通学）

①目的地（住所や具体的な施設名を記載）

- ・子どもが香南市の作業所に通っており、香美市役所までの送迎をしている。

※そこから香南市までは作業所のバス

②-1 そこへの移動手段

- ・本人：自分で自家用車を運転
- ・本人の子ども：家族に送迎を頼む（市役所まで）

②-2 そこへの移動手段（乗換①）

- ・本人の子ども：作業所による送迎

③滞在時間

- ・本人の子ども：121分以上（作業所で6時間半程度）

④ついでに回るところ（住所や具体的な施設名を記載）

- ・本人：市役所へ送迎した際にバリューかがみの等へ寄ることもある。
- ・本人の子ども：送迎バスのため、立ち寄る場所はない。

⑤-1 ついでに回る際の移動手段

- ・本人：自分で自家用車を運転

⑥この移動の頻度

- ・本人：週3日程度

⑦家を出る時間

- ・本人：午前8時15分

⑧家に帰る時間

- ・本人：午後16時40分

⑨特記事項1

- ・本人：銀行なども送迎のついでに立ち寄る。
- ・地区住民：タクシーで小学生（大宮小学校）が通学している。

05 香北町（岩改、萩野地区）

問3 日常の移動について（通院）

①目的地（住所や具体的な施設名を記載）

- ・本人：香北病院、前田メディカルクリニック

②-1 そこへの移動手段

- ・本人：自分で自家用車を運転

※香北病院は送迎がある。

③滞在時間

- ・本人：1時間30分～2時間

④ついでに回る場所（住所や具体的な施設名を記載）

- ・本人：山田ならバリュー、美良布なら mac が多い

⑤-1 ついでに回る際の移動手段

- ・本人：自分で自家用車を運転

⑥この移動の頻度

- ・本人：決まっていない
- ・地区住民：1ヶ月に1日程度の人が多いのではないかと。週1～2日程度や2週間に1日程度の方もおられる。慢性疾患の場合には、1ヶ月に1日程度

⑦家を出る時間

- ・本人：午前9時～10時

⑧家に帰りつく時間

- ・本人：午後14時～15時

05 香北町（岩改、萩野地区）

問4 日常の移動について（買い物）

①目的地（住所や具体的な施設名を記載）

- ・本人：野市のフジグラン、mac、バリュー

②-1 そこへの移動手段

- ・本人：自分で自家用車を運転
- ・地区住民：萩野地区の方は、岩改口まで徒歩で行き、そこからジェイアール四国バスを利用。デマンドバスを利用している人もいる。

③滞在時間

- ・本人：1時間程度

④ついでに回る場所（住所や具体的な施設名を記載）

- ・本人：ダイキ、コメリハード&グリーン（香北店）

⑤-1 ついでに回る際の移動手段

- ・本人：自分で自家用車を運転

⑥この移動の頻度

- ・本人：週1～2日程度

⑦家を出る時間

- ・本人：午前9時30分～10時

⑧家に帰ってくる時間

- ・本人：午前11時30分～12時

⑨特記事項1

- ・macへ買い物に行った際には、駐車場がほとんど埋まっている。前店舗のユーマートと比較し、価格が安い。

05 香北町（岩改、萩野地区）

問5 日常の移動について（その他）

①目的地（住所や具体的な施設名を記載）

- ・本人：住民票等のため支所や香美市役所（本庁）へ行く。他には法務局など。
- ・地区住民：親族が香北町へ見に来る人が多いのではないか。また、田畑の管理等に香北町へ来る人もいる。

②-1 そこへの移動手段

- ・本人：自分で自家用車を運転

③滞在時間

- ・本人：1時間程度

④ついでに回る場所（住所や具体的な施設名を記載）

- ・本人：mac やバリューで買い物をする場合もある。

⑤-1 ついでに回る際の移動手段

- ・本人：自分で自家用車を運転

⑥この移動の頻度

- ・本人：年に数回程度

⑦家を出る時間

- ・本人：午後14時

⑧家に帰ってくる時間

- ・本人：午後17時

問 6 移動手段の確保に対する不安について

①移動手段の確保に対する不安について

- ・本人、地区住民：車が乗れなくなる5年～10年後に不安を抱えている。

②自由記述

- ・その不安に対する対策としては、バス等の移動手段が充実しても、高齢者だけで生活するのが困難となるため、子どもの家に引越す。施設に入居する。子どもが同居してくれるなどが考えられる。

問 7 どのような移動手段を要望するか

⑤自由記述

- ・自動運転はカートのような簡易な車であれば、考えられるのではないか。
- ・地域住民の移動や買い物等を助け合うコミュニティや仕組・体制が構築できればよいと考える。
- ・高齢者にとって、スマホを利用したキャッシュレスは、需要が無いのではないか。
- ・「カミカ」を使った支払いの需要はあるのではないか。
- ・スマホ等でバスの移動情報や時刻表がみることができるなどのサービス（アプリ）は、利用されるのではないか。
- ・サブスク（例：月額1万円でタクシー乗り放題）については、定期的に病院に行っているような人であればニーズがあるかもしれないが、車を運転している人は利用しないのではないか。アンパンマンミュージアム、龍河洞等を巡る観光のための1日周遊券であれば、観光客のニーズがあるのではないか。
- ・子どもが気軽に利用できるような公共交通サービスについては、子どもの人数も少ないためニーズが無いのではないか。
- ・岩改口に駐車場を整備し、そこまで自家用車で移動し、そこから公共交通（バス）を利用するといった環境整備は考えられるかもしれない。
- ・デマンドに対するニーズやさらに利用するための要望等も特にない。
- ・タクシーチケットの配布はどうか。

06 香北町（新田地区）

調査概要

地区：香北町 新田

日時：2023年7月25日（火） 13:30

場所：コミュニティセンター新田

ヒアリング実施者

香美市定住推進課：谷

GPMO：大西、寺尾

問1 回答者の属性

①お住まいの地域（地区名）

- ・香北町 新田

②氏名

- ・参加者 16人

③年齢

- ・地区住民：60歳代、70歳代、80歳代が多いのではないかと。

④同居家族の構成

- ・参加者では、1人暮らし：4人、夫婦のみ：2人、他は3人以上

⑤自身が利用可能な移動手段（複数回答可）

- ・参加者では、自動車が大半である。他にも、自転車：3人、徒歩：2人

⑦性別

- ・参加者（男性）：2人
- ・参加者（女性）：14人

⑧職業等

- ・参加者の8割程度が、無職（年金生活含む）であり、他にも会社員がいる。

06 香北町（新田地区）

問2 日常の移動について（通勤・通学）

①目的地（住所や具体的な施設名を記載）

- ・参加者（家族含む）：高知市旭町、南国市、香南市、土佐山田町など

②-1 そこへの移動手段

- ・参加者（家族含む）：自分で自家用車を運転が多い

③滞在時間

- ・参加者（家族含む）：120分以上が多い。

④ついでに回るところ（住所や具体的な施設名を記載）

- ・参加者（家族含む）：エーマックス（高知市）、イオン高知旭町店（高知市）、バリューなど

⑤-1 ついでに回る際の移動手段

- ・参加者（家族含む）：自分で自家用車を運転が多い

⑥この移動の頻度

- ・高知市旭町：1週間に6日

⑦家を出る時間

- ・高知市旭町：午前10時～11時頃
- ・南国市：午前7時
- ・香南市：午前8時

⑧家に帰ってくる時間

- ・高知市旭町：午後22時
- ・南国市：午後18時
- ・香南市：午後18時30分

06 香北町（新田地区）

問3 日常の移動について（通院）

①目的地（住所や具体的な施設名を記載）

- ・香北病院、物部歯科診療所、坂本内科、楠目眼科、JA 高知病院（南国市）、内田脳神経外科（高知市塚ノ原）、高知医療センター（高知市）

②-1 そこへの移動手段

- ・自分で自家用車を運転が多い
- ・香北病院：徒歩、自転車
- ・物部歯科診療所：市営路線バス
- ・楠目眼科：路線バス（ジェイアール四国バス）

③滞在時間

- ・1時間～2時間
- ・坂本内科：半日程度

④ついでに回るところ（住所や具体的な施設名を記載）

- ・バリューかがみの

⑤-1 ついでに回る際の移動手段

- ・自分で自家用車を運転

⑥この移動の頻度

- ・香北病院：月に1日程度
- ・物部歯科診療所：数ヶ月に1日

⑦家を出る時間

- ・午前中に出る人が多い
- ・香北病院：午後

⑧家に帰る時間

⑨特記事項

- ・坂本内科は受診するために毎回施設に行き、予約を取る必要があり、手間がかかる。

問4 日常の移動について（買い物）

①目的地（住所や具体的な施設名を記載）

- macが8割である。他には月曜日・木曜日にくる移動販売（サンブラザ）を利用。バリュー、生協など

②-1 そこへの移動手段

- macへは自分で自家用車を運転するが多いが、他にも自転車、徒歩の人もいる。

③滞在時間

- mac：15分から1時間程度

④ついでに回るところ（住所や具体的な施設名を記載）

- バリューへ行っている人は病院の帰りに寄っている。

⑤-1 ついでに回る際の移動手段

- 自分で自家用車を運転

⑥この移動の頻度

- mac：週に1～2日程度

⑦家を出る時間

- 午前中に買い物に出かける人と午後から買いものに出かける人が半々

⑧家に帰る時間

問5 日常の移動について（その他）

①目的地（住所や具体的な施設名を記載）

- 高知市へ趣味のために出かける。
- 高知市へ買い物、まち歩きに出かける。

②-1 そこへの移動手段

- 高知市へ趣味で出かける：自分で自家用車を運転
- 高知市へ買い物、まち歩きに出かける：路線バス（ジェイアール四国バス）、JR、路面電車など

③滞在時間

- 高知市へ趣味で出かける：2時間程度
- 高知へ買い物、まち歩きに出かける：2時間以上

④ついでに回る場所（住所や具体的な施設名を記載）

- 高知市へ趣味で出かける：親族に会う、バリューで買い物

⑤-1 ついでに回る際の移動手段

- 自分で自家用車を運転

⑥この移動の頻度

- 高知市へ趣味で出かける：週に2～3日程度

⑦家を出る時間

- 高知市へ趣味で出かける：午前8時前

⑧家に帰ってくる時間

- 高知市へ趣味で出かける：午後17時

問6 移動手段の確保に対する不安について

①移動手段の確保に対する不安について

- ・今は特に不安はないが、将来、車が運転できなくなれば不安になると思う。

②自由記述

- ・現在対策までは考えていない。
- ・macが移転するなどの噂もあり、買い物ができる場所などを考えてほしい。
- ・買い物に行くための行政支援をお願いできないか。

問7 どのような移動手段を要望するか

①どこへ行きたいか

②時間帯

- ・大栃線（ジェイアール四国バス）は、午前11時台から12時46分までのバスがないため、昼頃の便数が増えるとよい。
- ・JRにて香美市（土佐山田駅）まで帰ってきてても、土佐山田駅から美良布までのバスがない（時間が限られている）。

③1週間の内のお出かけ頻度

④デマンド運行の可能性の対応度

⑤自由記述

- ・毎日の運行でなくていいので、朝の時間帯に高知市方面への移動手段を確保してほしい。
→あればよい（参加者の8割程度）。
- ・乗り換えの場合でも接続している便の案内をもっと分かりやすくしてほしい。
→土佐山田駅の階段を歩いてホームを渡るのが大変である。
- ・ICカード「ですか」「カミカ」による支払方法を導入してほしい。
→あればよい（参加者の内、4~5人）。
- ・様々な端末（モニター・スマホ）で全ての公共交通車両の場所が分かるようにしてほしい。
→あればよい（参加者の内、1~2人）。高齢者は利用方法がよく分からないのではないか。
- ・子どもが気軽に乗れる公共交通のサービスを検討してほしい（運賃、頻度、新経路等）。
→あればよい（参加者の内、1~2人）。
- ・JRやバス等の公共交通の料金をもっと分かりやすくしてほしい。
→特に必要を感じない。
- ・運行している事業者が異なる場合でも同じ運賃や定期などで乗れるようにしてほしい。
→あればよい（参加者の内、1~2人）。
- ・車の交通量が少ない地域であれば運転手無しの自動運転などの導入も検討してほしい。
→いきなりの導入は怖い。広く普及して安全が証明されれば、利用すると思う。
- ・運転手付きであれば自動運転車（カートのような簡易な乗り物）の導入も検討してほしい。
→短い距離の移動で簡易なものであれば、徒歩の代わりに利用すると思う。
- ・毎日の運行でなくていいので、香南市までのアクセス・移動手段を確保してほしい。香南

06 香北町（新田地区）

市の空港乗合タクシーのような空港までのアクセス・移動手段を確保してほしい。
→香南市及び空港までのアクセス・移動手段があればよい（参加者の内、5～6人）。

その他

- 大栃線（ジェイアール四国バス）の増便は可能であるか。
→ジェイアール四国バスと協議しないと分からない。運転手の昼休み時間の関係もあり、増便のために運転手の増員となると費用がかかることになる。
- 土佐山田町（杉田付近）で通行止めとなった際に、物部川の北岸が渋滞して通れなくなり、陸の孤島となった。道路の拡幅をお願いしたい。

07 物部町（五王堂地区）

調査概要

地区：物部町 五王堂

日時：2023年7月25日（火） 10:00

場所：五王堂分団屯所

ヒアリング実施者

香美市定住推進課：谷

GPMO：大西、寺尾

問1 回答者の属性

①お住まいの地域（地区名）

- ・物部町五王堂

②氏名

- ・参加者5人

③年齢

- ・地区住民：60～80歳代が多いのではないかと。

④同居家族の構成

- ・地区住民：ひとり暮らしが多い。他は2人が多い。3人以上の世帯は少ない。

⑤自身が利用可能な移動手段（複数回答可）

- ・地区住民：自動車が主である。高齢の女性で、車を運転できない方もいる。

⑦性別

- ・参加者（男性）：4人
- ・参加者（女性）：1人

⑧職業等

- ・地区住民：自営業・自由業（農業を含む）が多い。会社員もいる。

07 物部町（五王堂地区）

問2 日常の移動について（通勤・通学）

①目的地（住所や具体的な施設名を記載）

- ・男性：南国市

②-1 そこへの移動手段

- ・男性：自分で自家用車を運転

③滞在時間

- ・男性（夜勤）：午後 21 時～午前 2 時、午後 13 時～18 時

④ついでに回るところ（住所や具体的な施設名を記載）

- ・コンビニ（美良布）

⑤-1 ついでに回る際の移動手段

- ・男性：自分で自家用車を運転

⑥この移動の頻度

- ・男性：週2～3日

⑦家を出る時間

- ・男性（夜勤）：午後 18 時 30 分頃、午前 11 時 30 分頃

⑧家に帰りつく時間

- ・男性：午前 3 時頃、午後 19 時頃

07 物部町（五王堂地区）

問3 日常の移動について（通院）

①目的地（住所や具体的な施設名を記載）

- ・村上内科、JA高知病院（南国市）、高知大学医学部付属病院（南国市）、近森病院（高知市）

②-1 そこへの移動手段

- ・自分で自家用車を運転
- ・高知大学医学部付属病院（南国市）：家族の送迎

③滞在時間

- ・1時間～2時間

④ついでに回る場所（住所や具体的な施設名を記載）

- ・バリューかがみの、ドラッグセイムス（処方箋の薬と買い物）

⑤-1 ついでに回る際の移動手段

- ・自分で自家用車を運転

⑥この移動の頻度

- ・JA高知病院（南国市）：1ヶ月に1日～2日程度
- ・近森病院（高知市）：3ヶ月に1日程度
- ・高知大学医学部付属病院（南国市）：3ヶ月に1日程度

⑦家を出る時間

- ・予約等によるが、午前にかを出る

⑧家に帰りつく時間

- ・予約等によるが、午後に帰ってくる

07 物部町（五王堂地区）

問4 日常の移動について（買い物）

①目的地（住所や具体的な施設名を記載）

- ・移動販売（サンプラザ）、バリューかがみの、mac（美良布）

②-1 そこへの移動手段

- ・自分で自家用車を運転

③滞在時間

- ・30分～40分

④ついでに回るところ（住所や具体的な施設名を記載）

- ・病院

⑤-1 ついでに回る際の移動手段

- ・自分で自家用車を運転

⑥この移動の頻度

- ・週に1日～2日程度

⑦家を出る時間

- ・午前9時30分頃

⑧家に帰りつく時間

- ・午前12時頃

07 物部町（五王堂地区）

問5 日常の移動について（その他）

①目的地（住所や具体的な施設名を記載）

- ・近くの川でアメゴ釣り。

②-1 そこへの移動手段

- ・アメゴ釣り：自分で自家用車を運転

③滞在時間

- ・アメゴ釣り：3時間程度

④ついでに回るところ（住所や具体的な施設名を記載）

⑤-1 ついでに回る際の移動手段

⑥この移動の頻度

- ・アメゴ釣り：週1日程度

⑦家を出る時間

- ・アメゴ釣り：午前9時頃

⑧家に帰りつく時間

- ・アメゴ釣り：午後13時頃

問6 移動手段の確保に対する不安について

①移動手段の確保に対する不安について

- ・今は特に不安はないが、将来、車が運転できなくなれば不安になると思う。

②自由記述

- ・将来の対策等については、現時点では考えていない。

問7 どのような移動手段を要望するか

①どこへ行きたいか

②時間帯

③1週間の内のお出かけ頻度

④デマンド運行の可能性の対応度

⑤自由記述

- ・なるべく乗り換えをせずに市街地（土佐山田町）へ行く手段を確保してほしい。
→あればよい
- ・毎日の運行でなくていいので、朝の時間帯に高知市方面への移動手段を確保してほしい。
→あればよい。
- ・乗り換えの場合でも接続している便の案内をもっと分かりやすくしてほしい。
→バスに乗ったことが無いため不明である。
- ・ICカード「ですか」「カミカ」による支払方法を導入してほしい。
→あればよい。
- ・様々な端末（モニター・スマホ）で全ての公共交通車両の場所が分かるようにしてほしい。
→あればよい。
- ・子どもが気軽に乗れる公共交通のサービスを検討してほしい（運賃、頻度、新経路等）。
→地区の子どもは少ない。子どもは親と行動を共にするため、あまり需要はない。
- ・JRやバス等の公共交通の料金をもっと分かりやすくしてほしい。
→100円単位やワンコインとするなど、分かりやすい方がよい。
- ・運行している事業者が異なる場合でも同じ運賃や定期などで乗れるようにしてほしい。
→共通の定期などがあればよい。
- ・車の交通量が少ない地域であれば運転手無しの自動運転などの導入も検討してほしい。
→怖い印象がある。安全性が示され当たり前のようなになれば利用も考えられる。
- ・運転手付きであれば自動運転車（カートのような簡易な乗り物）の導入も検討してほしい。
→あればよい。
- ・毎日の運行でなくていいので、香南市までのアクセス・移動手段を確保してほしい。香南市の空港乗合タクシーのような空港までのアクセス・移動手段を確保してほしい。
→香南市及び空港までのアクセス・移動手段があればよい。
- ・19時以降の市営バスの便数を増やしてほしい。

07 物部町（五王堂地区）

その他

- 福祉タクシーを利用した際の助成額は、1回の利用につき支払った料金から1,000円を差し引いた額の2分の1で上限があるが、タクシー代も高くなる傾向にあるため、助成を高くしてほしい。

08 物部町（押谷地区）

調査概要

地区：物部町 押谷

日時：2023年7月27日（火） 13:30

場所：押谷公会堂

ヒアリング実施者

香美市定住推進課：谷

GPMO：大西、寺尾

問1 回答者の属性

①お住まいの地域（地区名）

- ・物部町押谷

②氏名

- ・参加者5人

③年齢

- ・地区住民：60～70歳代が多いのではないかと。中学生や子育て世代（40代）もいる。

④同居家族の構成

- ・参加者：夫婦のみが2人、4人暮らしが1人
- ・地区住民：ひとり暮らしが多い。

⑤自身が利用可能な移動手段（複数回答可）

- ・地区住民：自動車が主である。移住してきた人（2人）は電動自転車とバスを利用している。

⑦性別

- ・参加者（男性）：2人
- ・参加者（女性）：3人

⑧職業等

- ・参加者：無職（年金生活含む）、アルバイト、農業
- ・地区住民：無職（年金生活含む）が一番多い

08 物部町（押谷地区）

問2 日常の移動について（通勤・通学）

①目的地（住所や具体的な施設名を記載）

- ・参加者（家族含む）：香北町美良布、香北町吉野

②-1 そこへの移動手段

- ・香北町美良布：自分で自家用車を運転

③滞在時間

- ・香北町美良布：午前8時30分～午後17時30分

④ついでに回るところ（住所や具体的な施設名を記載）

- ・香北町美良布：コメリハード&グリーン（香北店）、香北薬品、ローソン、フレッシュマートふくどめ、道の駅美良布

⑤-1 ついでに回る際の移動手段

- ・香北町美良布：自分で自家用車を運転

⑥この移動の頻度

- ・香北町美良布：週3～4日
- ・香北町吉野：週5日

⑦家を出る時間

- ・香北町美良布：午前7時30分頃
- ・香北町吉野：午前7時30分頃

⑧家に帰りつく時間

- ・香北町美良布：午後18時すぎ
- ・香北町吉野：午後18時頃

問3 日常の移動について（通院）

①目的地（住所や具体的な施設名を記載）

- ・北村病院（南国市）、坂本内科、高知大学医学部附属病院

②-1 そこへの移動手段

- ・北村病院（南国市）：自家用車を運転
- ・坂本内科：家族の送迎
- ・高知大学医学部附属病院：自家用車を運転

③滞在時間

- ・北村病院（南国市）：30分程度
- ・坂本内科：約半日
- ・高知大学医学部附属病院：121分以上

④ついでに回るところ（住所や具体的な施設名を記載）

- ・坂本内科（送迎者）：バリュー、JA直売所かざぐるま市（南国市）など
- ・高知大学医学部附属病院：コメリハード&グリーン（香北店）、マルニ（山田店）

⑤-1 ついでに回る際の移動手段

- ・北村病院（南国市）：自分で自家用車を運転
- ・坂本内科（送迎者）：自分で自家用車を運転

⑥この移動の頻度

- ・北村病院（南国市）：月に1日程度
- ・坂本内科：月に1日程度
- ・高知大学医学部附属病院：半年に1回

⑦家を出る時間

- ・北村病院（南国市）：午前10時
- ・坂本内科：午前8時
- ・高知大学医学部附属病院：午前8時

⑧家に帰る時間

- ・北村病院（南国市）：午前12時
- ・坂本内科：午後14時
- ・高知大学医学部附属病院：午前12時

08 物部町（押谷地区）

問4 日常の移動について（買い物）

①目的地（住所や具体的な施設名を記載）

- ・生協、土曜日にくる移動販売（サンブラザ）を利用。マルナカ（土佐山田店）、フジグラン（野市）、バリューかがみの、mac（美良布）、信崎食料品店（大栃）

②-1 そこへの移動手段

- ・生協：家まできてくれる。

③滞在時間

- ・バリュー、マルナカ（土佐山田）等：30分～40分

④ついでに回るところ（住所や具体的な施設名を記載）

- ・バリュー、マルナカ（土佐山田）等：病院、他のスーパーに寄る。

⑤-1 ついでに回る際の移動手段

- ・バリュー、マルナカ（土佐山田）等：自分で自家用車を運転

⑥この移動の頻度

- ・バリュー、マルナカ（土佐山田）等：週に1日程度

⑦家を出る時間

- ・バリュー、マルナカ（土佐山田）等：午前9時頃

⑧家に帰りつく時間

- ・バリュー、マルナカ（土佐山田）等：午前11時過ぎ

問5 日常の移動について（その他）

①目的地（住所や具体的な施設名を記載）

- ・親族に会いに行く（芸西村）。
- ・アメゴ釣り（年に1回程度）
- ・コロナ前は、親族に会いに行っていたが今は行っていない。

②-1 そこへの移動手段

- ・親族に会いに行く：自分で自家用車を運転

③滞在時間

- ・親族に会いに行く：1時間程度

④ついでに回る場所（住所や具体的な施設名を記載）

- ・買い物や道の駅（芸西村かっぱ市）

⑤-1 ついでに回る際の移動手段

⑥この移動の頻度

- ・親族に会いに行く：月に1日～2日程度

⑦家を出る時間

- ・親族に会いに行く：午前11時

⑧家に帰る時間

- ・親族に会いに行く：午後13時

問6 移動手段の確保に対する不安について

①移動手段の確保に対する不安について

- ・今は特に不安はないが、将来、車が運転できなくなれば不安になると思う。

②自由記述

- ・将来の対策等については、現時点では考えていない。

問7 どのような移動手段を要望するか

①どこへ行きたいか

- ・物部支所に行くのに時間が合わないためにタクシーで行っている。帰りは午前12時台のバスで帰ってきている。仮に午後から行っても午後16時台まで帰りのバスがない。もう少し便があればよい。

②時間帯

③1週間の内のお出かけ頻度

④デマンド運行の可能性の対応度

⑤自由記述

- ・なるべく乗り換えをせずに市街地（土佐山田町）へ行く手段を確保してほしい。
→あればよい（参加者の内、5人）。
- ・毎日の運行でなくていいので、朝の時間帯に高知市方面への移動手段を確保してほしい。
→あればよい（参加者の内、5人）。
- ・乗り換えの場合でも接続している便の案内をもっと分かりやすくしてほしい。
→乗り換えの仕方は分かるため困っていない。バスに乗ったことが無いため不明。
- ・ICカード「ですか」「カミカ」による支払方法を導入してほしい。
→あればよい（参加者の内、1人～2人）。お金を落とさなくてよい。年寄りや、スマホより「カミカ」等のカードの方が利用しやすい。
- ・様々な端末（モニター・スマホ）で全ての公共交通車両の場所が分かるようにしてほしい。
→使わないと思われる。
- ・子どもが気軽に乗れる公共交通のサービスを検討してほしい（運賃、頻度、新経路等）。
→子どもが少ないので、あまり需要はない。
- ・JRやバス等の公共交通の料金をもっと分かりやすくしてほしい。
→100円単位とするなど、分かりやすい方がよい。
- ・運行している事業者が異なる場合でも同じ運賃や定期などで乗れるようにしてほしい。
→特に必要はない。押谷～大栃、大栃～美良布、美良布～土佐山田までの共通の切符などがあればよい。
- ・車の交通量が少ない地域であれば運転手無しの自動運転などの導入も検討してほしい。
→怖い印象がある。安全性が示され当たり前になれば利用も考えられる。
- ・運転手付きであれば自動運転車（カートのような簡易な乗り物）の導入も検討してほしい。
→当該周辺地区ではイメージできない。土佐山田町などであれば走行できるのかもしれない。

08 物部町（押谷地区）

- 毎日の運行でなくていいので、香南市までのアクセス・移動手段を確保してほしい。香南市の空港乗合タクシーのような空港までのアクセス・移動手段を確保してほしい。
→JA 高知病院（南国市）まで行く人が様々な交通手段を乗り換えているので、そのような人は直通があれば便利と思われる。

その他

- 土佐山田駅で陸橋を渡らなければならないため年寄りはずらい。また、バスへの乗り継ぎの時間がない。エレベーター等の設置を望む。
- 市営バス（別府線）は、廃止となるのか。
→今のところ廃止するような考えはない。
- 廃止するのであれば、デマンドを利用しやすくしてほしい。現在は、バス停から近い場所では乗ることができないため、足の悪い人や高齢者は困っている。
- 大栃駅のトイレを洋式にしてほしい。和式では体が不自由な人が使いづらい。

ヒアリングに参加できなかった方の意見

- 路線検索への対応として、スマホ等での路線検索に押谷（別府線）が対応していない。google など、一般的に広く利用されているものから対応をお願いしたい。
- キャッシュレスへの対応として、「カミカ」に対応してもらいたい。期間限定のポイントなど利用できるとありがたい。
- 別府線の便数を充実してほしい。増やすのが難しいかもしれないが、少なくとも維持をお願いしたい。

09 物部町（大栃地区）

調査概要

日時：2023年7月21日（金） 19:00

場所：大栃区長事務所

ヒアリング実施者

香美市定住推進課：中島、谷

問1 回答者の属性

①お住まいの地域（地区名）

- ・物部町大栃

②氏名

- ・参加者 23人

③年齢

- ・参加者：40代～70代が大半
- ・地区住民：60代以降の年代が多い。子育て世代は少ない。

④同居家族の構成

- ・地区住民：独居、夫婦、2世帯など多様。

⑤自身が利用可能な移動手段（複数回答可）

- ・地区住民：自家用車が大半、原付、自転車も見られる

⑥性別

- ・参加者（男性）：18人
- ・参加者（女性）：4人

⑦職業等

- ・地区住民：会社員、農業、年金生活者 様々

09 物部町（大栃地区）

問2 日常の移動について（通勤・通学）

- ① 目的地（住所や具体的な施設名を記載）
 - ・土佐山田町市街地周辺、香南市
- ② -1 そこへの移動手段
 - ・自家用車
- ③ 滞在時間
 - ・6～7 時間程度
- ④ ついでに回るところ（住所や具体的な施設名を記載）
 - ・バリューかがみの 等
- ⑤ ついでに回る際の移動手段
 - ・自家用車
- ⑥ この移動の頻度
 - ・週5日間
- ⑦ 家を出る時間
 - ・午前7時頃
- ⑧ 家に帰る時間
 - ・午後18時頃

問3 日常の移動について（通院）

- ① 目的地（住所や具体的な施設名を記載）
 - ・高知大医学部附属病院、坂本内科、安岡クリニック、JA 高知病院
- ② -1 そこへの移動手段
 - ・自家用車、市営バス美良布・大栃線とジェイアール四国バス大栃線乗り継ぎ
- ③ 滞在時間
 - ・40分～2時間程度
- ④ ついでに回るところ（住所や具体的な施設名を記載）
 - ・バリューかがみの 等
- ⑤ ついでに回る際の移動手段
 - ・自家用車

09 物部町（大栃地区）

- ⑥ この移動の頻度
 - ・3 か月に 1 度程度から、月 1～2 回が多い
- ⑦ 家を出る時間
 - ・午前中早い時間帯多い
- ⑧ 家に帰る時間
 - ・午後早い時間帯が多い

問 4 日常の移動について（買い物）

- ① 目的地（住所や具体的な施設名を記載）
 - ・美良布 mac、香北コメリ、高知市周辺、土佐山田町市街地周辺、サンブラザ移動販売車（大栃郵便局前）など
- ② -1 そこへの移動手段
 - ・mac、バリュー、コメリ等は、自分で自家用車を運転。
 - ・移動販売（サンブラザ）は歩いて利用している。
- ③ 滞在時間
 - ・60 分程度が多い
- ④ ついでに回る場所（住所や具体的な施設名を記載）
 - ・病院等（土佐山田町市街地へ行くのに 40 分程度かかるため、なるべく複数の用事を 1 度の移動で済ませるよう工夫している）
- ⑤ -1 ついでに回る際の移動手段
 - ・自家用車
- ⑥ この移動の頻度
 - ・1 週間に 1～2 回程度
- ⑦ 家を出る時間
 - ・午前中
- ⑧ 家に帰る時間
 - ・正午ごろ～午後早い時間帯

09 物部町（大栃地区）

問5 日常の移動について（その他）

- ① 目的地（住所や具体的な施設名を記載）
 - ・大栃周辺にある菜園、香北町内にあるゆず畑

- ②-1 そこへの移動手段
 - ・自分で自家用車を運転

- ② 滞在時間
 - ・2時間以上

- ④ ついでに回るところ（住所や具体的な施設名を記載）
 - ・ない

- ⑤-1 ついでに回る際の移動手段
 - ・ない

- ⑥ この移動の頻度
 - ・ほぼ毎日

- ① 家を出る時間
 - ・午前中

- ② 家に帰ってくる時間
 - ・正午ごろ、長い場合は夕方以降

問6 移動手段の確保に対する不安について

① 移動手段の確保に対する不安について

- ・現在、自身で運転をしている層について現時点では問題無いが、運転免許返納が具体的に
見えてきたら不安になるだろう。（10年後～20年後なのか分からない）
- ・どのような対応ができるかも分からない。

② 自由記述

- ・デマンドバス（ものべゆず号）の充実（乗降場所の充実や予約時間の締切時間緩和）を要望
- ・市営バス美良布・大栃線の土日祝の早朝・夕方の増便の早期実現を要望

問7 どのような移動手段を要望するか

（参加者多数のため、それぞれ概要説明の後、利用してみたいと思うものに挙手をしてもらう）

- ・乗り換えなしの土佐山田方面・高知市方面への移動手段・・・多数挙手
- ・キャッシュレス・・・6人挙手
- ・スマホ等端末での車両位置情報・・・0人挙手
- ・子どもが気軽に乗れる公共交通・・・0人挙手
- ・分かり易い料金体系・・・0人挙手
- ・自動運転・・・条件無しだと挙手なし。技術が一般普及後であれば挙手多数。
- ・香南市や南国市（空港）方面への移動手段・・・半数程度が挙手